

昭和27年11月15日



第65號

足立区政ニュース

THE ADACHI KUSEI NEWS

發行所 足立区千住1丁目50番地
 東京都足立区北葛西1丁目1番地
 編集 務課 総務係
 電話 足立 { 3-1115 }
 東京都足立区千住2丁目5番地
 巧文社印刷所(織田)
 電話 足立 { 3-4067 }
 { 3-787 }



皇太子様

お目出とぅ

こうたいしさまが、ごりつばに、せいじんされた、おゆわいのひに、ぼくたちがつくつた、おおきなたいを、はなてかぎつた、だしにのせて、おめでとぅ、こうたいしさま、と、まちをあるくと、おとなのひとが、たちどまつて、にこにこしながら、てきふつて、おめでとぅ、といいました。

(写真は十一月十日区立関屋幼稚園で写す)

足立区教育委員会

十一月一日から業務開始

区民の信託にこたえて

区教育行政の執行機関として新たに設けられた足立区教育委員会は去る十一月一日、区議事堂で初の委員会を開催委員の推せんにより、委員長に藤平勇氏、副委員長に田中広吉氏が就任、「公正に職務を遂行し区民各位の信託にこたえん」と別項の声明文を発表、その業務に入った。

委員会は同日午前十時二十分から藤平、世良、丸山、田中、川村各委員の外区長及び関係職員が出席して行われ、議席の決定その他次の議案の審議が行われ何れも原案可決となり午前十一時五十分閉会した。

○当日可決された議案は次の通り

- △東京都足立区教育委員会事務局設置規則
- △東京都足立区教育委員会公告式規則
- △東京都足立区教育委員会会議規則

- △東京都足立区教育委員会傍聴人規則
- △東京都足立区図書館規程の一部改正
- △東京都足立区教育委員会公印規定
- △東京都足立区教育委員会事務局文書専決規則
- △教育委員会の権限に關する支出命令権の委任に關する規則
- △東京都足立区教育委員会事務局規程
- △東京都足立区教育委員会事務局規程
- △東京都足立区教育委員会事務局規程

委員会の内部機構

教育委員会の発足とともに、委員会内部機構とそれにとりな入事が十一月一日付をもつて次のように決定した。

教育長 近藤 吾一

学校教育課 課長 宇田川己吉
庶務係 係長 藤田五郎兵衛

聲明

東京都足立区教育委員会は本日ここに成立出発するにあたり、日本国憲法を擁護し、教育基本法を尊重して、教育學術及び文化の伸展発達を図り、区民の福祉を増進するため、何者にも

主として委員会の庶務（文書、統計、予算等）を行う。

学事係 係長 神藤幸次

区立学校の設置維持管理及び児童生徒の就学衛生管理、その他教職員の福利厚生に關すること

指導室

教育計画、教育活動、児童生徒指導の助言及び教

第七回区議會

競馬・遠峯 議員に決定

本年第七回足立区議會は去る十月二十一日午後一時三十分から、区議事堂で開会、案件審議に先立ち鈴木（仲）議員より産業會館の建設促進と区立学校の映写機について質問が行われ、これに対し区長、学務課長からそれぞれ答

職員の研修に關すること

社会教育課 課長 町山 盛

文化係 係長 石倉義雄

聴視覚教育 図書館、公民館、宗教、文化その他社会教育に關すること。

体育係 主任 長野一雄

体育施設の維持管理及び体育団体、社会体育に關すること。

弁があつて議事に入った。

會議結果は次の通り

一、議席変更について

鯨岡兵輔氏の辞任にともなう土屋甚太郎氏の繰上げ当選及び議會内クラブ員の所属変更により、一部議席の変更を行った。

二、（第三十五号議案）特別区競馬組合規約の一部を変更する規約（原案可決）

従来千代田区役所内に設けられていた特別区競馬組合事務所を区政會館へ移転したので規約に定められている事務所的位置を改正したものである。

三、足立区議會常任委員選任について



紙芝居コンクール

子供達の日常生活と、密接な関係にある紙芝居は、その内容の善い悪いが、直ちに児童に大きな影響を与える所から従来屢々識者間の論議的となつていたが、今回区社会教育課（実施日現在）では、前号既報の趣旨により去る十月二十八日午前九時から、「紙芝居コンクール」を区議事堂で開いた。

集まつた区立小中学校生徒を前に、第一部（街頭紙芝居業者）一八名、二部（素人）として地区大会に出場する。

土屋議員が総務、財務の委員に決定した。

遠峯富次議員が当選

五、足立区教育委員会議員選出委員について

藤平議員が当選決定した。

（人）五名の参加者が、日頃の腕前を競つたが、結局PTA代表、警察、婦人会、教育委員等関係者の十一人の審査員により、次の通り受賞者が決定した。

第一部

一位 矢野 勝治

二位 林 菊次郎

三位 谷口 留吉

第二部

二位 北村源太郎

二位 大浦 豊治

三位 大河原 安

なお矢野、林（一部）北

子は親にこう望む

青少年保護育成運動から

十一月一日から二週間、青少年の不良化を防止するとともに青少年の自覚を促進し、更にこれを保護育成しようとする「青少年保護育成運動」が全国的に展開され都立に本区でも青少年問題協議会が中心となつて、各地区協議会及び婦人会等と協力、青少年保護育成懇談会を各所で開催、種々の問題について懇談した。以下数多くの発言の中から子供から親への希望、不満について考えさせられるものを二、三挙げて世の親達の参考に供しよう。

★「しつけについて」

(イ) 子供の前で家庭の愚痴をいわないでほしい。
 (ロ) 親が子供の前で喧嘩口論しないでほしい。
 子供は親が想像する以上に喜怒哀楽に敏感で、親の喧嘩はたとえ子供を愛する真情からであつても、子供にとつては決してプラスになるものではなく、かえつて不安定感を抱かせる。
 (ハ) 客がくると、子供を背負わされて使にだされる。子供の立場も考えて欲しい。訪問客があつた場合、子

供も一緒に仲間に入れることは、来客に対する礼儀や話題等、生きた「しつけ」にもなる。その後で用向によつては「子守り」や「お使い」も結構。子供は初めから邪魔者扱いにされた点が不服なのである。不服をもたせると、何かの役に立つてゐるのだという誇りをもたせるのでは、その心理的影響は大きな違いである。

★「ほしいものを買つてやる」といつて用をいいつけるが、用が済むと何も買つてくれない。

(三) ほしいものを買つてやるという用をいいつけるが、用が済むと何も買つてくれない。
 その場限りの「でまかせ」で子供を扱うことは、純真な子供にとつては裏切られたという感じが強く、次第に反抗的になつてゆく。親への信頼は、まず子供を誠実に扱うことから初まる。
 ★叱責について
 (イ) 父は時々酒を飲んで遅く帰つて困らせるが、僕達が少し遅く帰ると叱られる。こんな父は僕達を叱る資格がない。
 子供が遅く帰つてくるのに

も子供なりの理由がある。この理由をきいて合理的な説諭がのぞましい。そして別の機会に大人の世界が子供の世界と違う点、職務と社交等によつて帰宅時間が遅くなる理由を話して納得させる必要がある。
 (ロ) 叱るとき手をあげないでほしい。ぶたれると反抗したい気持ちになる。
 懲罰で子供がよくなると思ふのはまちがいである。
 もの心のつきはじめ頃の幼児には、体罰も多少のききめはあるが、道理がわかりはじた子供には靜かに理由を説いて納得させ、矯正する態度が大切である。

★理解について

父や母は話しかけるとうるさいという態度をとる。
 子供を知るには子供と接し子供と語り、共に遊ぶことが大切である。
 忙しい時でも一寸手を休めてきいてやる。そして「おもしろそうだ、後は御飯のとき聞こう」等といえれば子供は満足する。
 ★学習について
 (イ) 親は勉強を強制しすぎわからぬ点は忙がしくても教えてほしい。
 勉強は規則的にする習慣を

つけてやる。眞剣にやつてゐるときは、使に行かせないとか、騒音をさげるとか、細かな心づかいをしてやる。子供の疑問に対して「うるさい」とつづねねることは最もわるい。むづかしい問題で、どうしてもわからぬ時は「知らない」とはつきり答えた方が結果的によい。
 (ロ) 試験の成績をもつて帰

ると点数がよいときは賞めてくれず悪いとどなるのはやめてほしい。
 点数だけを見て叱ることはいけない。成績はその子供の能力と努力の關係において批評し激励すべきで、たとえば常に十点をとる兄の九点よりも、常に五点をとる弟の七点は、それまでになる弟の努力を認めてやらねばならない。

楽しい保育所

秋季農繁期に区で設置

獲り入れの秋を迎えて、猫の手も借りたいほどの忙しさに寧日ない農家の、特に主婦にとつて、育児は相当大きな負担である。この労働と育児という二重の負担から母親を解放し、生産増強に専心出来るようにするとともに普段、設備のある遊戯場に恵まれない農村の子供達をオルガンや木琴などの楽器、保姆さんによる遊戯指導などで楽しませようと、区では去る一日から、区内の五か所に秋季農繁期保育所を設けて、人手不足の農家の好評を買っている。

この保育所にくる子供は、まだ小学校へ行つていない小さな子供達なので、保姆さん

児童遊園設置計畫

決まる

去る四日、区議会土木、厚生教育の三委員会では今年度の児童遊園地建設を決定するため、区内数か所の候補地を实地調査し、次の三か所を決定した。これら遊園地設置に要する費用は、一か所当り約二〇万円見当で、設計の完成次第直ちに工事に着手するが、第回は来春一月末の予定。
 ●八千代町八〇二番地、一四〇坪
 ●下沼田町七四三番地、四〇〇坪
 ●上沼田町一〇〇三番地、神社境内一四〇坪

の苦勞も並大抵でなく、地元婦人会等の有志が交代で子供の世話をやいている所もある。
 各保育所をずつと一廻りしても、お孫さんの手を引いた老人の多いことである。保育所がなければ、野良着で畦道に腰を下ろし、孫の面倒をみていなければならなかつたらう老母が、清潔な着物を着て買物袋様のものを掲げ、綺麗な洋服を着た孫の、カチャチ山の遊戯に、目を細めている光景。つり込まれるような微笑しさだ。勿論、だからといって、畦道で孫のお守りをする姿が、いたましいという

訳ではない。それにはそれで、自ずと違つた明るい平和があるけれど、唯、保育所に孫の附添いでやつてくるおばあさん、おじいさんが、少くもオルガンから流れるメロディに、三時のオヤツに、浮き浮きした喜びを感じているところが、楽しい光景であるというのである。ともあれ、わけもわからぬ画をかいたり、折紙細工をしたり、常日頃とは違つた遊び方を、心から堪えて、毎日、時間前から詩かける子供達のために、唱れだ一月の設置期間を期してやりたいほど、保育設置の効果はあがつていさうだ。

○秋季農繁期保育所
 舎人町西門寺境内
 北鹿浜町押部クラ
 花畑町実性寺境内
 辰沼町竜岩寺境内
 西加平町稻荷境内

好記録續出に湧く

第一回陸上競技大會

去る十月十二日に行われた第五回足立区民体育祭に引続き、十月二十六日午前九時から第一回足立区陸上競技選手権大会が、秋晴れの緑町グラウンドで開催された。

よつて繰りひろげられた足立区陸上競技選手権争奪の熱戦が、トラックのデットヒートが観衆を魅了し去つた。大会記録左の通り

★男子★

100米 荒瀬成章一 一秒五、志水三郎、一一秒九、矢島英治
200米 志水三郎二
500米 堀合恒男二六秒、小池修一二六秒一、四百米 飯島正三五六秒三、②浜野給一郎五六秒五、木暮和夫五七秒五、千五百米 遠山金司四分四七秒、富沢晋四分五一秒二、田島克四分五三秒 五千米 清水敬三一分一四秒、石井俣夫一八分、篠田省三一分二六秒、四百米リレー かもめくらぶB五二秒一、一二中教員五二秒三、江北ク五二秒五、スエーデンリレー 一二中教員二分二一秒二、快走ク二分二一秒八、明治ク二分二五秒二、圓盤投松井孝友三一米五九、槇山武二四米八〇

砲丸投 須藤善平一〇米五、大山惣寿郎九米六四、松井孝友九米五八、走高跳 木下嘉壮一米五五、中村登一米五五、磯員安行一米五〇、走中跳、荒瀬成章六米二二、無

田勝八六米、秋山信雄五米九三、三段跳 肥後靖夫一二米四六、平田金民一二米四四、須藤金平一二米二五

★女子★

50米 大和田叔子七秒四、根本慶子七秒六、高橋範子七秒八、百米 大和田叔子三秒九、佐藤タカ子一四秒、渡辺克子一四秒五、二百米 渡辺克子三二秒五、佐藤タカ子三三秒、森洋子三三秒一、四百米リレー かもめ俱六一秒五、快走俱六、五秒 砲丸投

島瀬久仁子八米一、千原明子六米六二、根本和栄六米五一、走中跳 根本和栄三米九七、走高跳 根本慶子一米二五、薄倉弘子一米二〇

★三五才以上★

60米 百瀬清一七秒九、小林捷八秒、長野一雄八秒一、百米 小林捷一二秒、長谷川慈本一三秒六、伊藤広三一二秒、走高跳 上原廉藏五米三二、長野一雄五米二七、杉本武衛門三米七四

(写真は砲丸投)



★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

足立区文化祭

11月23日 - 12月14日

区内の文化団体が挙げて参加する第二回足立区文化祭は、菊薫る十一月二十三日から、十二月十四日まで、藝能、音楽、演藝美術、別項によつて實施される。

◆藝能大會

琴、長唄、洋舞、日舞、民謡

場所 千壽第一小學校

日時 十一月二十三日

午後一時

◆音楽コンクール

歌曲、歌謡曲

場所 千壽第一小學校

日時 十一月三十日

後一時

◆演劇發表會

高校以上の學校、地域団体、職域団体

場所 梅島小學校講堂

日時 十二月七日午前十時

◆展覽會

繪畫、寫真、華道、書道

場所 千壽第三小學校講堂

月日 十二月十三、十四日